## 

## 白風シャック

## No Image



著者:東野圭吾 実業之日本社 所蔵館:中央館 請求記号: B913.6比



ここは新月高原スキー場。シーズン当初、雪の量が少なく営業に不安もあったがやっと積雪量も安定し従業員はホッとしていた。 そんな矢先スキー場にある一通のメールが届く。

「ゲレンデの下に爆弾を仕掛けた。

我々は遠隔操作によって、いつどこからでも爆破できる。」 警察に通報できない状況を嘲笑うかのように次々と身代金が奪われていく。 ゲレンデを乗っ取った犯人の目的はいったい何なのか、すべての鍵は一年前 血に染まった禁断のゲレンデにあった・・・。

No Image

所蔵館:中央館 請求記号:913.6ヒ

文庫版で書き下ろされた本作。

のちにハードカバー版でも出版されました。 あなたは文庫派?それともハードカバー派? 東野圭吾をもっと知りたい時はこれ! 自作解説や好きなもの、作家としての 日々が綴られた一冊です。

「たぶん最後の御挨拶」 文藝春秋

> 所蔵館:中央館 前求記号:914.6ヒ

No Image